

今日からマルコの福音書を学び始めます。イエス・キリストについて学び、この方を知りましょう

1. 福音のはじめ (1章1節)

- ①マルコの福音書 この書を記したマルコは、バルナバのいとこで(コロサイ 4:10)、当初のバルナバの後に
ついて伝道をしていました。エルサレムの裕福な信者マリヤの子だった(使徒 12:12)といわれ、大きな家が
集会に使われ、ペテロたちもそこに入り出していた可能性があります。ペテロから信仰を導かれ、ペテロの
手助けをしました。また、若いころにパウロに同行するのを拒否されこともあります(使徒 16:38)、後には
信頼されるようになりました。この書は、ローマあるいはアンテオケにおいて、紀元 50 年代前半に記され
たと考えられています。
- ②福音のはじめ (1:1) アルケー(はじめ)という言葉でこの福音書は始まっているのです。「神の子である
イエス・キリストの福音のはじめ」とありますが、イエス・キリストは神の子と記されています。「神の子」
という表現は、ユダヤ人が長く待ち望んでいたメシヤ(救い主)を意味する言葉です。その方を通して示さ
れる福音です。福音とは良きおとずれです。ゴスペルです。その福音のはじめ、つまり一番の基についてこ
れから記していくということです。
- ③イエス・キリスト (1:1) イエスというのはヘブル語ではヨシュアです。そのギリシャ語のかたちがイエスな
のです。主は救いという意味です。キリストはメシヤを意味するギリシャ語です。ヘブル語では油注がれた
者という意味で、旧約時代には王、祭司、預言者に油が注がれました。

2. イザヤ書の預言 (1章2～3)

- ①あなたの前に (1:2) イザヤ書にはメシヤ預言(救い主の到来を告げる預言)が散りばめられています。2
節は、実際はマラキ書 3:1 からの引用ですが、イザヤ書はメシヤ預言を代表する書ですからまとめてそのよ
うに記しているのです。「使いをあなたの前に遣わし、あなたの道を整えさせよ」とありますが、イエス・キ
リストの直前に来て道を整えるために、遣わされる人がいるとの預言ですね。
- ②荒野で叫ぶ者の声 (1:3) 3 節の部分はイザヤ書 40:2 からの引用です。「荒野で叫ぶ者の声がある」。出エジ
プトの民が置かれたのも荒野でした。植物があまり育たない砂漠的で、人が居住しにくい場所でした。一方、
霊的な荒野という表現があります。霊的に不毛な場所です。神を認めない民たちの有様もさしています。今、
私たちが生きるこの地はどうでしょう？あなた自身はどうでしょう？その人は荒野で叫んでいるのです。
- ③主の通られる道をまっすぐに (1:3) その人は「主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ」との役
割を果たす人です。しかし、その人は主ではありません。主の通られる道をまっすぐにして、整える仕事を
する人なのです。その人とは、次節 4 節に出てくるように、バプテスマのヨハネです。

3. くつのひもも (1章4～8節)

- ①バプテスマのヨハネ (1:4～6) バプテスマというのは水に浸すという意味ですが、水による洗い清めとして
回心者に授けられるものです。これはまた加入儀式であり、教会においてもバプテスマ(洗礼)を受ける者
は教会に加えられてきました。ここに出てくるヨハネは、キリストの弟子であるヨハネとは異なります。彼
は 6 節にあるように、らくだの毛で織った者を着て、腰には皮の帯を締め、いなごと野蜜を常食としていま
した。ヨハネは罪の赦しを得るために、悔い改めるように人々に訴えかけたのです。
- ②多くの人々が (1:5) するとユダヤの全国から人々が集まり、「エルサレムの全住民が」と記されるほどに
多くの人々が彼の所に行き、罪の悔い改めをして、ヨルダン川でバプテスマを受けたのです。荒野ではあり
ました、その様は霊的には大いなる恵みの出来事でした。
- ③くつのひもを解くことも (1:7～8) しかし、彼は明言しました。「私よりもさらに力のある方が、後からお
いでになります」。「私には、かがんでその方のくつのひもを解く値打ちもありません。」と。ヨハネは身のほ
どをわきまえた預言者でした。その方は水ではなく「聖霊のバプテスマをお授けになります」とし、その方
こそがキリストであることを告げているのです。

【結論】 「荒野で叫ぶ者の声がある」という預言は、バプテスマのヨハネの出現によって成就されます。彼は粗末
な着物を身にまとい、粗食に甘んじて、福音を語りました。「罪を悔い改めよ」と高らかに告げました。彼の宣教は真
摯であり熱烈でした。多くの人々が促しに応じて信仰をもち、ヨルダン川で洗礼を受けたのです。今の時代、この国
においても、誰でも主なる神の前に出ていくことができます。あなたが、罪に気づかされ、罪に苦しんでいるなら、
主なる神に告白しましょう。主は赦してくださいませ(Iヨハネ 1:9)。ヨハネは自分よりもはるかにすぐれた方が来
られることを伝えました。待望のイエス・キリストです。この方こそ、人間の罪からの救いのために、愛の限りを尽
くし、自らを投げ打って、十字架にかかってくださった主です。バプテスマのヨハネはこの方の到来の道備えとして
の預言者でした。ヨハネの荒野での叫び声に耳を傾け、罪を悔い改め、キリストにつながっていきましょう。